

ミヤマサナエは、山頂を中心とした200m程の尾根筋のみに限って見られ、多数の個体が、日光浴をするような姿で杉の梢近くに止まっていた。時々、小さな虫を捕食する個体も見られ、驚かせると近くの杉の木に移った。縄張り行動らしきものはない様子だった。

なお、山頂付近にはこれとは別に、おびたしい数のアキアカネが飛んでいたことを、併せて報告しておく。

ムカシヤンマの 和田山町糸井溪谷における採集・目撃例

山崎喜彦

1986年度のムカシトンボの調査で、和田山中学校科学クラブの生徒と糸井溪谷を訪れた際、ムカシヤンマ *Tanypteryx pryeri* 1♂を生徒が採集、6個体を筆者が目撃している。本種は、指標昆虫として扱われ注目されているので、報告しておきたい。

《採集記録》 1♂(体長69mm)

採集地：和田山町竹ノ内

採集日：1986.VI.2(18時)

採集者：足立憲昭

広場の地面に静止していたものを採集

《目撃記録》 目撃地は、すべて和田山町竹ノ内、観察者は筆者、♂♀の判別はできなかった。

- ・1986.VI.1(12時55分) 1個体が、不動の滝の約100m上流を上流方向へ通過
- ・1986.VI.7(14時24分) 1個体が、カツラの木上の丸木橋に翅を開いて静止
- ・1986.VI.7(15時30分) 1個体が、カツラの木隣の小屋の看板に静止
- ・1986.VI.8(12時10分) 1個体が、溪谷の最上流で下流方向へ通過
- ・1986.VI.14(14時23分) 1個体が、不動の滝より約200m上流を下流方向へ通過
- ・1986.VI.22(10時15分) 1個体が、カツラの木の前を上流方向へ通過